

舞鶴医療センター附属看護学校



第21号 発行日：平成29年 7月28日

〒625-8502

京都府舞鶴市字行永 2410 番地

TEL : (0773) 63 - 4338 Fax : (0773) 63 - 3014

アドレス kyokan-i@maizuru-mc.jp



皆さんお久しぶりです！！連日厳しい暑さが続いておりますがいかがお過ごしですか？
さて、今回は1年生の宿泊研修、2年生の授業での高齢者体験学習、3年生の実習、看護の日、学生フォーラム、看護学校の講義について紹介していきます！！



宿泊研修 (1年生)

5月に京都宇治のYMCA リトリートセンターで2泊3日の宿泊研修に行きました。普段経験することのない自然の中で3日間過ごし、普段とは違ったクラスメイトの積極的な一面を見ることができ、より深睡を深めることができました。今回の研修で感じたことは「情報を伝えることの難しさ」です。各係でリーダーを決めていたのですが、リーダーからメンバーにうまく情報を伝えられずリーダーばかりが動いてしまうことがありました。クラスの課題として、情報共有を行い全員で協力していくことがあがりました。研修で得た学びを活かし、それぞれが目指す看護師になれるよう努力していこうと思います。



高齢者体験 (2年生)

老年看護学の授業で高齢者の疑似体験を行いました。高齢者体験スーツを身につけ、街中を歩いてみると駅までの道のりも普段私たちが歩いている倍の時間がかかり、疲労も普段の自分達とは全く違いました。路上に駐車している車や側溝など何気ないところにも、転倒や事故につながりかねない危険が潜んでいることに気がきました。バスの乗り降りの際、後ろに人を待たせてしまっていることに対する焦りや、思うように体が動かないことに対するもどかしさから精神的な面でも様々な問題が生じることを考えることが出来ました。

体験を通して加齢に伴う機能低下による生活の変化や不自由さを身体的、社会的側面からも身をもって感じる事が出来ました。この体験から学んだ、身体的機能の特徴や心理面の理解を今後の高齢者の方との関わりの中で生かしていきたいです。



臨地実習（3年生）

私は成人周手術期看護実習で、本人、家族ともに手術後の痛みに対する不安や手術後すぐに歩くことへの恐怖がある患者を受け持ちました。手術とは治療のために急性期の状況をつくり出している状態であり、既往歴や生活習慣、術式・術中体位、出血量、麻酔による影響が手術後の対象の回復過程に大きく影響します。手術前、術中の情報から、術後に起こりうる状態をアセスメントすることが大切であり、異常を早期に発見することで、正常な回復を促すことができると学ぶことができました。また、患者と家族の思いや社会的背景を理解し、抱える不安の原因や誘因についてアセスメントを行い、ひとつひとつ不安を解消するための援助を行うことが大切だと理解することができました。

3年生は1年間のほとんどが実習であり、それぞれの実習で学ぶ内容が異なり大変ですが、これまで学んだことを活かして看護が実践できるよう日々頑張っています。



学校の講義を紹介します！！

当校は1、2年次に英語の講義があります。看護師として国際化社会に対応できるように1年生では英語の基礎と医学英語の基礎を学び、2年生では医療器具の名称や症状の表現方法、実際に海外の方が入院されたときのためにスケジュールの調整などの医療の場において必要な医療英会話を学びます。講師は平成26年度からインド出身のチャイターニャ・バンダーレ先生が担当して下さっています。

舞鶴市は海外への旅客船や貨物船の出入国があることから海外の渡航者が多数あります。看護師として医療現場に立った時、多様な背景を持つ患者に対応できるよう今学んでいる医学英語が使えるように日々学習を積み重ねています。



講義の様子

特別教科外活動（看護の日）

看護学生として入院している患者の回復への願いや、地域の方々への感謝の気持ちを込めて、今年度は「看護の心をみんなの心に」というテーマのもと、折り鶴を用いた壁画の作成と与保呂川と病院周辺の道路の清掃を行いました。各病棟に出向かい患者様とともに鶴を折り、折った鶴を組み合わせる病院に来られた方に四季を感じて頂きたいと思いデザインは四季を感じられるものとししました。また、一緒に活動に参加して下さった患者様に病気からの回復を願ったしおりを贈りました。清掃活動では、日頃お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを込めて河川敷の掃除を行いました。今回の活動を通して今後も地域に愛されている与保呂川が美しい川であり続けるように守っていこうと感じました。



広げてつなげて深まれ絆！（近畿学生フォーラム）

神戸文化ホールで国立病院機構近畿グループ附属看護学校5校が集まり第13回国立病院機構 近畿学生フォーラムが開催されました。今年のサブテーマは「2025年問題から考える看護」です。講演会では九州工業大学の柴田智広先生を招き「看護がロボットと協奏する社会の創造に向けて」をテーマに講演をしていただきました。シンポジウムでは「地域包括ケアシステムにおける看護師の役割」について意見交換を行いました。

学校紹介では本校は様々なボランティアに積極的に参加することで多くの学びを得ていること、地域の人々に支えられていることを劇に交えて紹介しました。今回、高齢化が進む社会に向けて看護師の役割とそれを果たすために今からできることを考え、自分にはなかった考えに触れることで視野を広げる機会となりました。



学校紹介の様子



シンポジウムの様子

フラダンスでフラフラ予防（市民公開講座のお知らせ）

9月30日に舞鶴医療センター附属看護学校の体育館で市民公開講座を行います！
今年フラダンスを行います。他に骨密度測定、血流測定、ロコモ度テストを企画しています。
フラダンスは年齢・性別問わず参加できます。興味のある方はぜひお越しください（^◇^）
申し込み方法につきましてはホームページをご覧ください。



オープンキャンパスのご案内

今年度もオープンキャンパスを開催します。看護師という仕事に関心のある方、当校に興味のある方、学内の雰囲気を知る、入試情報を得る機会となりますので是非一度参加してみてください。例年、日本各地からの参加や保護者の参加も多くあります。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

<日程> 7月27日（木）、8月10日（木）、8月26日（土）、9月16日（土）、平成30年3月10日（土）
時間：13:00～16:00 申し込み方法はホームページをご覧ください。



7月22日に第1回オープンキャンパスを開催しました！！

この学校新聞「まいづる☆かんGO!!」はホームページでも観覧できますので、一度ホームページも見て下さいね。

アドレス (<http://www.hosp.go.jp/~maizuru/school/>)

